

Arch Linux は、シンプルかつミニマルでありながら強力な、Linux ディストリビューションです。

- pacman というシンプルパッケージ管理システムがあります。また、ユーザコミュニティベースの AUR (Arch User Repository) があります。
- GUI 環境さえも、使用したいものを自分で選んでインストールできます。
- ローリングアップデートにより、常に最新のシステムを利用することができます。

Arch Compared to Other Distributions (日本語)

Linux カテゴリ

Linux に関するページについては [Category/Linux](#) も御覧ください。

おしらせ

GUI([Gnome](#)) の話題については、[Xfce](#) および [Gnome](#) もご覧ください。

全般

Google Chrome が SQLite 関連のエラーを出力しプロファイルが読み込めなくなる問題

以下のようなエラーが標準エラー出力へ出力されるとともに、プロファイルが読み込めなくなった場合は、/home および /var の空き容量を確認する。

```
Quota sqlite error 5, errno 0: database is locked
database is full database or disk is full
```

Linux から Chromecast (GoogleCast) が見つからない問題

Linux 上の Google Chrome から [Google Cast](#) で Chromecast へ接続しようとする、デバイスが見つからない旨のエラーが表示されるが、iptables でポートを解放することで接続可能になる。

```
-A INPUT -p udp -m udp --dport 32768:61000 -j ACCEPT
```

参照 : [How can I use Chromecast - Ask Ubuntu](#)

NTFS の USB メモリ / 外付け HDD が読み取り専用として認識される問題

NTFS の USB メモリ / 外付け HDD が、読み取り専用として認識される場合は、

```
$ dmesg | tail
[ xxxx.xxxxxx] NTFS-fs error (device sdb1): load_system_files(): Volume is dirty. Mounting
read-only. Run chkdsk and mount in Windows.
```

こんな感じで、該当ボリュームが dirty になっているかもしれない。

措置としては、Windows で chkdsk を実行することが最善。

もし Linux 上で解決したい場合は、ntfsfix コマンドを実行する。(ntfs-3g パッケージに含まれる)

```
$ sudo pacman -Syu ntfs-3g
$ sudo ntfsfix /dev/sdb1
```

```
$ sudo ntfsfix -d /dev/sdb1
```

参 照 : <http://askubuntu.com/questions/112150/how-to-correctly-fix-a-dirty-ntfs-partition-without-using-chkdisk>

root アカウント以外でもパーティションをマウントできるようにするには
例えば、一般ユーザが Thunar でパーミッションをマウントしようとする
"Not authorized to perform operation" のようなエラーが発生する。

root アカウント (権限) 以外でもパーミッションをマウントできるようにするには ...

```
$ sudo vi /etc/polkit-1/rules.d/10-enable-mount.rules
polkit.addRule(function(action, subject) {
    if (action.id == "org.freedesktop.udisks2.filesystem-mount-system" &&
subject.isInGroup("storage")) {
        return polkit.Result.YES;
    }
});
$ sudo usermod XXX -aG storage
```

このように特定グループによるマウントを許可するようポリシーを追加して
自分のユーザをグループに追加する。

参照 : <https://wiki.archlinux.org/index.php/Polkit...>

PDF - 注釈を表示したい

2014 年 6 月現在、"Evince" などでは今のところ PDF の注釈を表示できないが、
KDE 系の PDF ビューワ "Okular" であれば注釈も表示できる。

```
$ sudo pacman -Syu kdegraphics-okular kde-l10n-ja poppler-data
```

LibreOffice - 動画ファイルを埋め込めない

LibreOffice/OpenOffice の Impress などのスライドなどで
動画ファイル (mp4, avi, ...) や音声ファイルを埋め込めなかったり
スピーカーアイコンで代替表示されてしまう場合には、
gstreamer の必要なパッケージがインストールされていない。

以下のパッケージをインストールすること :

- gstreamer
- gst-libav
- gst-plugins-good
- gst-plugins-ugly
- gst-vaapi

参考 : <https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=165774>

OpenCV - ./configure 時に Python の "SyntaxError: invalid syntax" が発生する
OpenCV をビルドする際には Python を利用するが、
Arch Linux においては、本来 Python2.x を使うべき所で Python 3.x が使われる場合がある。

解決策としては、ビルド時の configure で明示的に Python2.x を指定する：

```
PYTHON=/usr/bin/python2 ./configure
```

https://code.google.com/p/ghoti/wiki/Compiling_OpenCV

OpenCV - ビルド時に conflicting declaration ‘ typedef long unsigned int uint64 ’
が発生する

OpenCV をビルドする際に

```
"/usr/include/tiff.h:78:23:  
エラー： conflicting declaration ‘ typedef long unsigned int uint64
```

のようなエラーが発生する場合は、次のページを参照：

<http://trac.macports.org/ticket/38168>

pacman

エラー： confuse: signature from "xxx yyy <xxx@example.com>" is unknown
trust

```
エラー： confuse: signature from "xxx yyy <xxx@example.com>" is unknown trust  
:: ファイル /var/cache/pacman/pkg/example-0.0-0-x86_64.pkg.tar.xz は破損しています (無効または破  
損したパッケージ (PGP 鍵))。
```

pacman にて上記のようなエラーが発生する場合は

\$ sudo pacman-key --refresh-keys コマンドで PGP 鍵を更新するとよい。

Docker

[Docker](#) を参照。

印刷

CUPS から Google Cloud Print 対応プリンタで印刷する方法

<https://www.niftiestsoftware.com/cups-cloud-print/>

<https://aur.archlinux.org/packages/cloudprint-cups-git/>

まず、CUPS Cloud Print をインストールし、Google アカウントで認証を行う。

```
$ yaourt -S cloudprint-cups-git  
$ sudo /usr/share/cloudprint-cups/listcloudprinters.py
```

setupcloudprint.py を実行すると、CUPS に Google Cloud Print のプリンタが登録される。

```
$ sudo /usr/share/cloudprint-cups/setupcloudprint.py
```

Android

Android エミュレータの高速実行 (HAXM による Intel Atom x86 イメージの実行)

Android の開発環境において、ホスト PC が Intel x86 系 CPU 環境である場合は、HAXM を利用する事で、開発用エミュレータ (仮想マシン) を高速実行できる。ホスト PC の環境にもよるが、快適に開発できるか、まともにできないかの雲泥の差といっても良い。

(ホスト PC が KVM による Hypervisor に対応する必要あり。)

仮想マシンの起動時間 : (非スナップショット , RAM:2GB, Heap:64MB)

- Android 4.1.2 @ Intel Atom x86 イメージ & HAXM 有効時 : 約 5 秒
- Android 4.1.2 @ ARM(armeabi-v7) イメージ : 約 40 秒

さて、ホスト PC が Linux の場合、Android の SDKManager では HAXM を設定できない。そのため、以下のように設定する必要がある。

```
$ su
# pacman -Syu qemu libvirt
# groupadd libvirt
# usermod XXX -a -G kvm
# usermod XXX -a -G libvirt
```

/etc/libvirt/libvirtd.conf から、unix_sock_dir ~ の行をコメントアウトする。

```
# vim /etc/libvirt/libvirtd.conf
unix_sock_dir = "/var/run/libvirt"
```

以下のとおり、コマンドを表示し、同様のメッセージが表示されたら OK。

```
# virsh -c qemu:///system list
  Id   名前                               状態
-----
```

あとは、Android Virtual Device Manager などで Android の仮想マシンを作成して、実行すれば良い。(その際、CPU/ABI として "Intel Atom x86" を選択すること。)

参照 :

- <http://techmedia-think.hatenablog.com/entry/20121024/1351083049>
- <http://d.hatena.ne.jp/maehachi08/20110921/1316592860>

追記 (2014/05/30):

最近のアップデート以降、HAXM が無効になっていたので再度上記の手順を実行した。

Android 実機開発 on Arch Linux

```
$ sudo pacman -Syu libmtp
$ mtp-detect
Listing raw device(s)
```

```
Device 0 (VID=XXXX and PID=YYYY) is a Google Inc (for Asus) Nexus 7 (MTP).
Found 1 device(s):
  Google Inc (for Asus): Nexus 7 (MTP) (XXXX:YYYY) @ bus 2, dev 4
Attempting to connect device(s)
Android device detected, assigning default bug flags
$ sudo vi /etc/udev/rules.d/52-android.rules
SUBSYSTEM=="usb", ATTR{idVendor}=="XXXX", ATTR{idProduct}=="YYYY", MODE="0666", GROUP="plugdev",
OWNER="YOUR_USER_NAME"
$ sudo chmod a+x /etc/udev/rules.d/52-android.rules
```

参考 : <http://o-san.blogspot.jp/2012/09/nexus-7ubuntuadb.html>

Unsupported major.minor version 52.0 のようなエラーが発生する

以下のようなエラーが発生する場合 ...

```
Errors occurred during the build.
Errors running builder 'Android Package Builder' on project 'com.example'.
com/android/dx/command/dexer/Main : Unsupported major.minor version 52.0
```

次の措置が考えられる .

1. Project Properties -> Java Compiler から Compiler Compliance Level を新しくする (1.7 など)
2. Project Properties -> Android から Android Build Target を新しくする
3. Eclipse の場合は , eclipse.ini の -vm オプションで JDK を明示する .

```
-vm
/usr/lib/jvm/java-8-jdk/bin/java
```

例えば , "Unsupported major.minor version 52.0" ならば , JDK 8 以上にすると動くらしい .

Error:Execution failed for task ':app:processReleaseResources'.

以下のようなエラーが発生する場合は、pacman で lib32-libstdc++5 と lib32-zlib をインストールする。

ただし、/etc/pacman.conf にて、multilib リポジトリの有効化が必要。

```
Error:Execution failed for task ':app:processReleaseResources'.
> A problem occurred starting process 'command' '/home/xxxx/Android/Sdk/build-tools/23.0.3/aapt'
```

glxinfo: コマンドが見つかりません

以下のようなエラーが発生する場合は、pacman で mesa-demos をインストールする。

```
glxinfo: コマンドが見つかりません
```

参照 : <https://bbs.archlinux.org/viewtopic.php?id=41427>

libGL error: unable to load driver: xxxx_dri.so

libGL error: unable to load driver: i965_dri.so のようなエラーが表示され

Android の仮想マシンを起動できないときは、Android SDK に含まれる libstdc++ のバージョン違いが原因。

とりあえずの解決方法:

```
$ cd /Android/Sdk/tools/lib64/libstdc++/  
$ mv libstdc++.so.6 libstdc++.so.6.bak  
$ ln -s /usr/lib64/libstdc++.so.6
```

参照: <https://github.com/ValveSoftware/steam-runtime/issues/53>

Arduino

Arduino - スケッチコンパイル時のエラー

<http://forum.arduino.cc/index.php?topic=199620.0>

```
/usr/share/arduino/hardware/tools/avr/bin/../../lib/gcc/avr/4.3.2/../../../../avr/bin/ld: cannot find -lm
```

Wine

Picasa3 on Arch Linux (x64)

[Arch Linux](#)(64 ビット版) 上で Wine を用いて Picasa3.9 を動作させる手順

```
$ sudo pacman -Syu wine winetricks wine-mono wine_gecko lib32-libxml2  
$ env WINEARCH=win32 WINEPREFIX= /win32 winetricks ie8  
$ wget http://dl.google.com/picasa/picasa39-setup.exe  
$ env WINEARCH=win32 WINEPREFIX= /win32 wine picasa39-setup.exe
```

Kinect

Kinect が Web カメラとして認識できない

Linux Kernel 4.x では以下のパスに Kinect 用のドライバモジュールが存在する .

```
/lib/modules/x.x.x.x-ARCH/kernel/drivers/media/usb/gspca/gspca_kinect.ko.gz
```

以下のように lsmod を実行して結果が表示されない場合は、モジュールが読み込まれていない可能性がある .

```
$ lsmod | grep gspca_kinect
```

以下のように動的にモジュールを読み込んで、Web カメラとして認識できるか試す .

```
$ sudo modprobe gspca_kinect
```

ThinkPad

無線インジケータランプの点滅をとめる

```
$ sudo vim /etc/tmpfiles.d/phy0-led.conf  
w /sys/class/leds/phy0-led/trigger - - - - phy0radio  
$ systemd-tmpfiles --create phy0-led.conf
```

反映されない場合は再起動。

スクロールボタンを押した時にペースト動作にならないようにする

以下のようにマッピングの定義を作成する。

```
$ xmodmap -pp |perl -ne 'BEGIN{@a=();$h=0} {next unless /^s*\d+*s*\d+*s*$/; ($v)=/^s*\d+*s*(\d+)*s*$/; push(@a,$v); if ($v gt $h) {$h=$v}} END{@b=()};foreach(@a){ if ($_ eq "2"){push(@b,$h)} elsif($_ eq $h){push(@b,"2")} else{push(@b,$_)} }; print "pointer = ".join(",@b)."\n";}' >> /.Xmodmap
```

ファイル作成後、再起動すると、適用される。

尚、X230 の場合、以下のように設定するとベストだった。

```
pointer = 1 12 3 4 5 6 7 8 9 10 11 2
```

引用元 : [/dev/loki: Disable middle mouse pasting \(sort of\)](#)

ThinkVantage ボタンを押した時にタッチパッドの有効 / 無効を切り替える方法

以下のようなシェルスクリプトを書いておき、XF86Launch1 に対するショートカットキーを割り当てればよい。

```
#!/bin/bash
synclient TouchpadOff=$(synclient -l | grep -c 'TouchpadOff.*=*0')
```

引用元 : https://wiki.archlinuxjp.org/index.php/Synaptics_%E3%82%BF%E3%83%83%E3%83%81%E3%83%91%E3%83%83%E3%83%89#.E3.82.BD.E3.83.95.E3.83.88.E3.82.A6.E3.82.A7.E3.82.A2.E3.83.88.E3.82.B0.E3.83.AB
